

徳島大学工学部創立 100 周年記念事業 趣意書

徳島大学工学部は、令和 4 年（2022 年）に創立 100 周年を迎えます。

工学部は、政府の高等教育機関拡張計画に基づき徳島県の産業発展を目的として、大正 11 年（1922 年）10 月に前身の徳島高等工業学校が創立され、昭和 19 年 4 月には徳島工業専門学校と改称し、次いで昭和 24 年（1949 年）の学制改革により徳島大学工学部となりました。

現在は、平成 28 年（2016 年）4 月の学部改組により、これまで工学部各学科において培ってきた「ものづくり」を中心とした教育研究と総合科学部理学分野の融合により新たな創造力を生み出す理工学部、及び工学部生物工学科を中心に生物資源系の教員を集結し構成された生物資源産業学部発展的に再編され、新たな科学技術の方向性を提言する 2 学部生まれ変わりました。令和 2 年（2020 年）3 月には、理工学部 484 名、生物資源産業学部 92 名となる初めての卒業生を輩出し、このうち同年 4 月新設の大学院創成科学研究科理工学専攻に 284 名、生物資源学専攻に 40 名が進学しています。

このように発展して参りました徳島大学工学部は、産業界の中核的な人材として自立的な応用力と創造力を有し、現代社会に生じている問題の分析力や解決能力を備えた技術者・研究者の育成の理念の基、創立以来約 3 万 8 千名に上る技術者を我が国に輩出し、今後も大きな期待が寄せられております。

今般、徳島大学工学部が創立 100 周年を迎えるにあたり、その記念事業として①教育・研究・学生活動の支援事業等、②地域・社会貢献活動の充実、③キャンパス環境整備、④工学部創立 100 周年記念誌の編纂、⑤記念式典、記念講演会、祝賀会の開催を実施し、更なる飛躍を図りたいと考えております。

徳島大学工学部同窓会（徳島大学工業会）でも、令和 2 年に改組後初めての 2 学部からの卒業生並びに新大学院を含む新入生を迎え、今後の同窓会活動の発展・拡充と、更には創立 100 周年を機に学部の益々の発展を願い、社会の期待に応えられる人材の育成を図るべく、理工学部及び生物資源産業学部と一体となって記念事業の準備を進めております。

つきましては、創立 100 周年記念事業を成功させ、更なる発展を実現するため、このたび関係者・支援者の方々のご理解とご協力のもとに、本募金活動を行いたく存じます。

上記の趣旨にご賛同いただき、学部の発展のため温かいご寄附を賜りたくお願い申し上げます。

令和 4 年 5 月吉日

徳島大学工学部創立 100 周年記念事業委員会

委員長（理工学部長・工業会名誉会長）

武藤 裕則

副委員長（生物資源産業学部長・工業会名誉副会長）

松木 均

副委員長（工業会理事長）

林 宏二郎